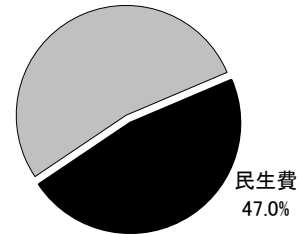


第3款 民生費

■一般会計に占める割合

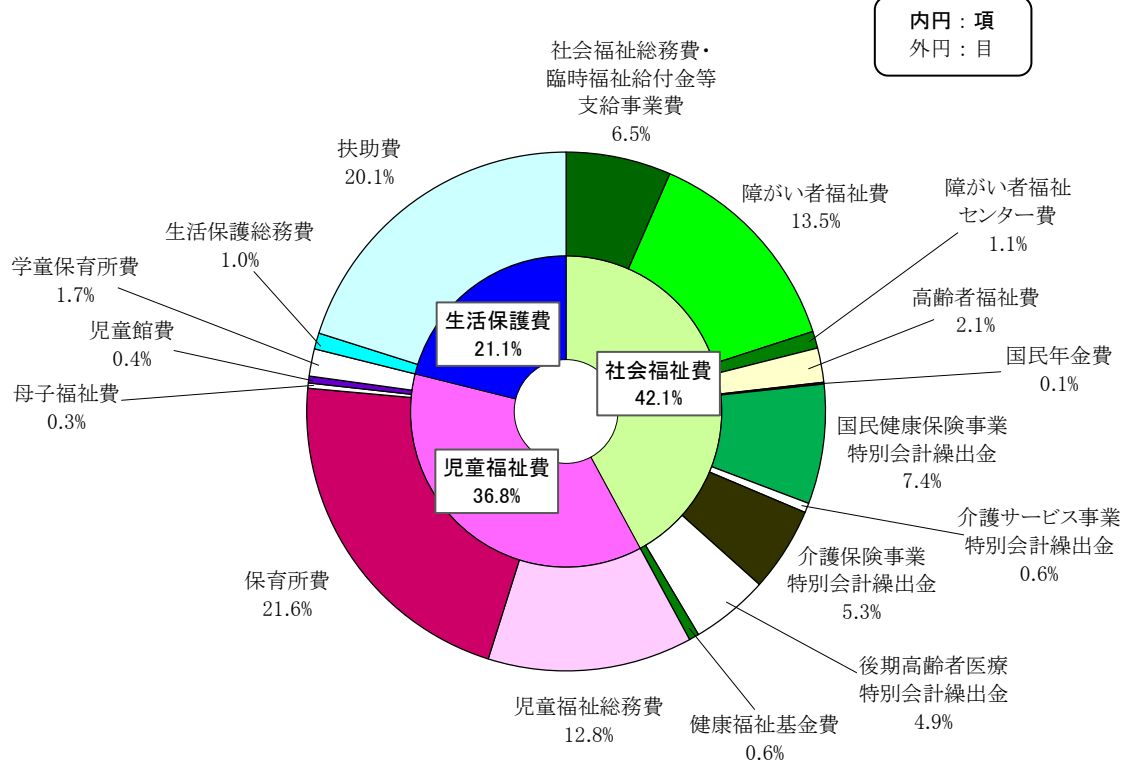


■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
平成28年度	34,412,474	32,277,617	15,550,454	0	1,220,446	15,506,717	93.8%
平成27年度	33,552,266	31,769,988	15,089,273	0	1,170,869	15,509,846	94.7%
増減	860,208	507,629	461,181	0	49,577	△3,129	—

決算額 項別目別構成比



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

社会福祉費

1 地域ケアネットワーク推進事業の充実と発展 14,111,000円 12,290,595円

＜地域ケアネットワーク推進事業費＞

誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らすことができる共助のまちづくりを目指し、7箇所の地域ケアネットワーク（井の頭、新川中原、にしみたか、東部、連雀、三鷹駅周辺、大沢）が取り組む地域サロンや地域での見守り・支え合い、多世代交流などの活動の充実と発展を引き続き支援しました。

また、こうした取り組みの周知を図るとともに、関係団体と情報共有や課題解決に向けた意見交換を行いました。

さらに、福祉人財の養成と活動支援を関係機関等と連携して実施し、新たな担い手の発掘とスキルアップを図りました。

〔実績・内容〕

- ・広報みたか「ケアネット特集号」の発行（平成28年11月13日）
- ・ケアネット合同学習会「『担い手力』を高めよう」の開催（平成29年2月16日）
- ・地域福祉ファシリテーターの養成 15人
- ・傾聴ボランティアスキルアップ研修 延べ149人受講
- ・地域福祉人財養成基礎講座「コミュニケーションに活かせる『傾聴入門』」27人受講（平成28年12月9日）

－ コミュニティ創生 －

－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

都 支 出 金	6,484,000円	一 般 財 源	5,806,595円
---------	------------	---------	------------

2 災害時避難行動要支援者支援事業の推進 3,149,825円 2,509,430円

＜災害時避難行動要支援者支援事業費＞

平常時からのゆるやかな見守りを含めた共助のまちづくりを推進するため、災害対策基本法に基づく「避難行動要支援者名簿」を活用した避難支援体制の整備を進める町会・自治会等と新たに協定を締結しました。

また、更なる協定締結に向け、町会・自治会等を対象とした説明会や研修を行うなど、事業の周知に取り組みました。

〔実績・内容〕

- ・名簿登載者
75歳以上のみの高齢者世帯、障がい者など
（災害時：19,686人、平常時：8,892人）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

- ・名簿登載者避難支援等関係者との協定の締結
町会・自治会、自主防災組織など5団体と新たに協定を締結
- ・協定の締結を検討している町会・自治会等への個別説明会の実施 7回
- ・避難行動要支援者名簿における活用実践例を紹介する研修会の開催
(平成29年2月10日)

－ コミュニティ創生 －

－ 安全安心 －

【財源内訳】

都 支 出 金	40,000円	一 般 財 源	2,469,430円
---------	---------	---------	------------

3 高齢者向け短時間サービスの本格実施に向けた支援 44,551,000円 42,514,416円

＜三鷹市社会福祉事業団運営関係費＞

三鷹市社会福祉事業団の在宅福祉サービス事業において、平成26年度からモデル的に開始した「短時間サービス」を本格実施するため、支援を拡充しました。

〔事業概要〕

- 対 象 者 65歳以上の市民（※三鷹市社会福祉事業団の利用会員に限る。）
- 内 容 日常的、一般的な（資格等がなくてもできる）範囲で、高齢者等が自分らしい生活をするために必要なことへの手伝いなど
(例) ゴミ出し、植木の水やり、水回りのみの掃除、服薬確認、
布団の取り込みなど

利用時間 15分単位での実施（15分から30分程度）

利用料金 15分300円

〔経費内訳〕

短時間サービスの本格実施に伴う拡充分	1,516,788円
その他事業費	40,997,628円

〔実績〕

利用世帯 130世帯

利用回数 577回

－ 健康長寿社会 －

4 生活困窮者自立支援事業の充実 27,853,000円 27,851,748円

＜生活困窮者自立相談支援事業費、生活困窮者就労準備支援事業費＞

生活困窮者の自立を促進するため、引き続き丁寧な自立支援相談と就労支援に取り組みました。また、相談支援員を1人増員し、窓口相談にとどまらない訪問や同行支援などのアウトリーチを行いました。

－ セーフティーネット －

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

国庫支出金	20,409,500円	一般財源	7,442,248円
-------	-------------	------	------------

5 障がい者差別解消に向けた取り組み 2,084,000円 2,045,729円

＜障がい者差別解消関係費＞

「障害者差別解消法（平成28年4月施行）」及び国の基本方針を踏まえて、27年度に策定した「三鷹市職員の障がいを理由とする差別解消推進対応要綱」に基づき、不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供などに向けた取り組みを進めました。

〔実績・内容〕

- ・職員研修を実施（係長職以上の177人が受講）
- ・三鷹市障害者差別解消法職員ハンドブックの作成
- ・各窓口への筆談ボードの設置、手話通訳者の配置（市役所本庁舎1階の福祉総合窓口に週1回）
- ・リーフレットの作成（市民、事業者、職員などへの周知・啓発）
- ・公開が原則となっている会議等への手話通訳者等の派遣（35件）

－ セーフティーネット －

【財源内訳】

国庫支出金	627,000円	都支出金	313,000円
一般財源	1,105,729円		

6 障がい者（児）の相談支援の充実 3,255,000円 2,405,237円

＜基幹相談支援センター関係費＞

障がい者（児）の相談支援の中核を担う「基幹相談支援センター」を新たに設置し、高次脳機能障がいや発達障がいなどの専門相談や、相談支援事業者の支援を行いました。また、リーフレットを作成・配布し、センターの概要を地域の関係機関に周知するなど、地域移行・地域定着支援に取り組みました。さらに、専門機関と連携した成年後見制度の案内や、「障がい者虐待防止センター」として通報対応や相談などによる虐待の防止や早期解決に取り組みました。

－ セーフティーネット －

【財源内訳】

国庫支出金	877,000円	都支出金	439,000円
一般財源	1,089,237円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

7 障がい者等の生活と福祉実態調査の実施 3,240,000円 3,240,000円

＜障がい者等実態調査事業費＞

平成29年度の「三鷹市第5期障がい福祉計画（計画期間：平成30～32年度）」等の策定に向けて、障がい者等の実態とニーズを把握するため、実態調査を実施しました。

〔実績・内容〕

調査対象及び回収率	18歳以上65歳未満の障がい者等※	18歳未満の障がい児等※	入院中の精神障がい者	施設入所者	高次脳機能障がい者・発達障がい者
	対象者1,787人 (回収率44.6%)	対象者373人 (回収率56.0%)	有効回収数 61票	対象者128人 (回収率81.3%)	有効回収数 21票
調査項目	福祉サービスの利用状況や利用意向、日常生活や社会参加の現状と課題		現状や将来の生活などの地域移行の意向		生活上の困難や福祉サービスの利用意向
調査手法	郵送による調査		配布による調査		

※ 身体・知的・精神の各障害者手帳所持者、自立支援医療（精神通院）受給者、特定疾患手当受給者

－ セーフティーネット －

8 子ども発達支援センターの開設に向けた準備 — —

子ども発達支援センターの開設（平成29年4月）にあわせて、「早期発達支援システム」を構築しました。

また、市内の幼稚園等に在籍している発達に課題のある子どもを対象とした、くるみ幼児園への併用通園について、関係部署や幼稚園等と連携しながら、引き続き試行的に実施しました。

※ 早期発達支援システム

発達に課題のある子どもとその保護者を対象に、総合保健センターの1歳6か月児等健康診査や発達支援親子グループにおける「アセスメント（＝評価）」から、保護者の気づきの段階での「育児支援」や子ども発達支援センターの「専門支援」を早期に実施するワンストップサービスを軸とした、三鷹市の「早期発達支援」の仕組み

〔関連歳入〕

児童発達支援給付費等収入 432,210円

－ 子ども・子育て支援 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

9 北野ハピネスセンターの幼児部門移転後の改修に向けた取り組み

＜北野ハピネスセンター改修事業費＞ 13,230,000円 10,800,000円

くるみ幼児園を含む幼児部門移転後のスペースを有効活用し、生活介護事業の効果的な事業展開と施設の老朽化への対応を図るため、平成29年度の改修工事に向けて設計業務を行いました。

〔施設改修の概要〕

- ・給食サービスを行うための調理室、配膳室の拡張
- ・入浴サービスを行うための機械浴室、脱衣室の整備
- ・空調機器等の更新、床、天井の改修、照明器具のLED化等

－ 都市再生 －

－ セーフティネット －

10 認知症にやさしいまち三鷹の推進

1,123,000円 978,799円

＜認知症高齢者支援事業費＞

認知症になっても高齢者等が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしているよう、認知症に対する意識啓発や、早期発見・早期診断体制の整備など、「認知症にやさしいまち三鷹」の推進に取り組みました。

〔実績・内容〕

- ・認知症への理解・啓発イベント「第5回認知症にやさしいまち三鷹」

開催日 平成28年10月29日（土）

参加者数 125人

内 容 シンポジウム「認知症にやさしいまち三鷹づくり」

講師 杏林大学医学部附属病院医師、東京都地域拠点型認知症疾患医療センター長 神崎恒一氏

パネル展示、ワークショップの開催など

- ・認知症サポーター養成講座

引き続き、直接認知症の方と接する可能性がある企業等へ働きかけるなど、受講者数の一層の増加を図るとともに、新たに小学生を対象とした講座を開催し、「みたか認知症キッズサポーター」を養成しました。

修了者数 762人（うち、みたか認知症キッズサポーター 130人）

- ・認知症の状態に応じた適切な医療や介護サービスなどの提供の流れを示す「認知症ガイドブック（ケアパス）」を作成し、配布しました。

－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

都 支 出 金	221,000円	一 般 財 源	757,799円
---------	----------	---------	----------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

■みたか認知症キッズサポーター養成講座



11 在宅医療・介護の連携の推進 7,639,000円 4,017,423円

＜在宅医療・介護連携推進事業費＞

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、「三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会」を設置するなど、地域の医療・介護の関係機関等との連携に取り組みました。

〔実績・内容〕

- ・三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会の設置（年3回開催）
- ・地域の医療機関に関する地域資源調査の実施
- ・高齢者に関わる多職種による研修会の実施（年2回実施）
- ・在宅医療と介護への理解を深めるパンフレットの作成
「わが家・三鷹で暮らし続けるために」「わたしの覚え書きノート」
- ・市民向け啓発イベント「在宅医療介護連携フォーラム」の開催

日時 平成28年10月29日（土）

場所 三鷹市公会堂光のホール及びさんさん館会議室

内容 介護講演会、専門職による無料相談、福祉用具の展示等

－ コミュニティ創生 －

－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

都 支 出 金	4,014,966円	一 般 財 源	2,457円
---------	------------	---------	--------

■わが家・三鷹で暮らし続けるために（左）、わたしの覚え書きノート（右）



12 みたかふれあい支援員養成講座の実施

1,000,000円

983,880円

＜みたかふれあい支援員養成事業費＞

平成28年4月から、三鷹市の介護保険事業において「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始したことに伴い、同事業における訪問型サービスに従事する「みたかふれあい支援員」の養成を行いました。年2回の講座により、三鷹市独自の基準による生活支援サービスに従事する支援員を55人養成しました。

※みたかふれあい支援員

専門職でなくても高齢者の生活を援助・支援していく、三鷹市独自の基準による訪問型サービス（189ページ参照）に従事する人

－ 健康長寿社会 －

13 認知症高齢者グループホームの整備

26,654,000円

25,904,000円

＜認知症高齢者グループホーム等整備事業費＞

「三鷹市第六期介護保険事業計画（計画期間：平成27～29年度）」に基づき、地域密着型サービス（認知症高齢者グループホーム）の事業者を公募・選定しました。また、東京都の「認知症高齢者グループホーム緊急整備支援事業補助金」などを活用し、事業者に対する整備費用の支援を行いました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔施設概要〕

名称 (仮称) グループホーム「ふぁみりあ」
 所在地 中原四丁目
 定員 認知症高齢者グループホーム：18人
 看護小規模多機能型居宅介護
 通所：15人、宿泊：5人、事業所内保育：11人
 開設 平成30年3月（予定）

－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

都支出金 25,700,000円 一般財源 204,000円

14 高齢者の生活と福祉実態調査の実施 4,500,000円 3,860,644円

＜高齢者等実態調査事業費＞

平成29年度に予定している「三鷹市高齢者計画・第七期介護保険事業計画（計画期間：平成30～32年度）」の策定に向けて、高齢者の実態とニーズを把握するため、調査を実施しました。

〔実績・内容〕

	一般高齢者調査	要支援認定者調査	要介護認定者・介護者調査
調査対象及び回収率	65歳以上の市民を無作為抽出	各要介護度から200人ずつを無作為抽出	
	対象者 3,956人 (回収率 68.2%)	対象者 400人 (回収率 80.8%)	対象者 1,000人 (回収率 65.7%)
調査項目	健康状態、介護保険制度など	介護保険・福祉サービスに関するニーズと評価、介護者の状況など	
調査手法	郵送による調査	訪問面接による調査	

－ 健康長寿社会 －

15 介護ロボット等の導入支援 3,523,000円 2,597,000円

＜介護ロボット等導入支援事業費＞

介護従事者が継続して就労できるよう、身体的負担の軽減や業務の効率化などの環境整備として、介護ロボット等の導入を行う介護保険施設及び事業所に対して支援を行いました。支援に当たっては、国の「地域介護・福祉空間整備推進交付金」を活用しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

支援施設 市内3施設
導入機器 顔認証型徘徊防止システム、ベッド内蔵見守りケアシステム、
コミュニケーションロボット

－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

国庫支出金 2,597,000円

■介護ロボット（コミュニケーションロボット）



16 高齢者施設の防犯対策の強化 393,000円 177,000円

＜高齢者施設等防犯対策強化事業費＞

防犯対策の強化に向けて設備を設置する高齢者施設に対して支援を行いました。支援に当たっては、国の「地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金」を活用しました。

〔実績・内容〕

支援施設 市内1施設
設置設備 人感センサー

－ 安全安心 －

【財源内訳】

国庫支出金 177,000円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

17 臨時福祉給付金等の円滑な支給 1,044,013,000円 605,716,291円

＜目：臨時福祉給付金等支給事業費＞

〔うち平成27年度からの繰越分 410,070,000円 368,562,875円〕

平成26年4月の消費税率引き上げに伴う負担を緩和するため、26、27年度に引き続き「平成28年度臨時福祉給付金」及び「臨時福祉給付金（経済対策分）」を支給しました。また、賃金引き上げの恩恵が及びにくい高齢者や障害・遺族基礎年金受給者に対して「高齢者向け給付金」及び「障害・遺族年金受給者向け給付金」を支給しました。

〔実績・内容〕

(1) 臨時福祉給付金

・平成28年度臨時福祉給付金

支給対象者 平成28年度の市民税（均等割）が課税されていない市民
（課税されている方の扶養親族や生活保護受給者等は対象外）

支給金額 支給対象者1人につき3千円

申請期間 28年9月20日～29年1月31日

申請者数 21,571人（非課税者 20,202人、未申告者 1,369人）

申請率 78.5%（非課税者 84.6%、未申告者 38.2%）

・臨時福祉給付金（経済対策分）

支給対象者 平成28年度臨時福祉給付金の支給対象者

支給金額 支給対象者1人につき1万5千円

申請期間 29年2月20日～29年6月30日

申請者数 17,959人（非課税者 16,997人、未申告者 962人）

申請率 66.0%（非課税者 72.0%、未申告者 26.6%）

その他 29年度も継続して支給することから、事業費、事務費の一部を翌年度に繰り越しました。

(2) 年金生活者等支援臨時福祉給付金

・高齢者向け給付金（平成27年度からの繰越分）

支給対象者 29年3月31日時点で65歳以上となる27年度の市民税（均等割）が課税されていない市民
（課税されている方の扶養親族や生活保護受給者等は対象外）

支給金額 支給対象者1人につき3万円

申請期間 28年4月20日～28年7月31日

申請者数 11,378人（非課税者 11,127人、未申告者 251人）

申請率 96.6%（非課税者97.4%、未申告者70.1%）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

・障害・遺族年金受給者向け給付金

支給対象者 平成28年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、28年5月分の障害・遺族基礎年金等を受給している方
(高齢者向け給付金の支給対象者を除く。)

支給金額 支給対象者1人につき3万円

申請期間 28年9月20日～29年1月31日

申請者数 943人(非課税者 931人、未申告者 12人)

申請率 97.2%(非課税者 97.5%、未申告者 80.0%)

〔繰越明許費繰越額〕

平成29年度への繰越額

臨時福祉給付金(経済対策分)支給事業費 297,345,000円

臨時福祉給付金(経済対策分)支給事務費 26,291,000円

－ セーフティーネット －

【財源内訳】

国庫支出金 605,716,291円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

児童福祉費

1 児童扶養手当の拡充 401,027,664円 398,442,470円

＜児童扶養手当支給事業費＞

ひとり親家庭等に支給している児童扶養手当について、国の制度改正に伴い支給単価の増額等を行いました。

〔拡充内容〕

(単位:円)

	改正前		改正後		増減	変更時期
第1子	全部支給	42,000	全部支給	42,330	+330	平成28年8月定例支給 (平成28年4月分)より
	一部支給	41,990 ～9,910	一部支給	42,320 ～9,990	+330 ～+80	
第2子	一律支給	5,000	全部支給	10,000	+5,000	平成28年12月定例支給 (平成28年8月分)より
			一部支給	9,990 ～5,000	+4,990 ～0	
第3子以降	一律支給	3,000	全部支給	6,000	+3,000	
			一部支給	5,990 ～3,000	+2,990 ～0	

※一部支給…所得に応じて支給単価を下げて支給

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

国庫支出金 132,752,596円

一般財源 265,689,874円

2 児童虐待対応機能の強化 16,181,000円 15,184,847円

＜子ども家庭支援センターのびのびひろば管理運営費＞

近年増加している児童虐待に係る相談・通告に適切に対応し、初動対応や専門相談などによる円滑な支援を図るため、のびのびひろばの虐待対策ワーカーを1人増員して体制を強化しました。

〔虐待対策ワーカーの体制〕

正規職員 2人

市政嘱託員 1人

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

都支出金 9,063,000円

一般財源 6,121,847円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

3 保育園地域開放事業等の充実 592,600円 537,600円

＜保育園地域開放事業費、東児童館子育て啓発事業費、東児童館子どものつどい事業費＞

平成27年度に地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）を活用して実施した保育園地域開放事業等について、市の単独事業として継続して実施し、在宅子育て支援の充実を図りました。

〔実績・内容〕

- ・人形劇（公設公営保育園 9 園） 311人参加
- ・チェロとピアノの親子コンサート（東児童館） 364人参加
- ・移動動物園（東児童館） 410人参加

－ 子ども・子育て支援 －

■親子コンサート



4 保育園における給食用食材の放射性物質検査の実施 210,000円 167,440円

＜公設公営保育園運営事業費＞

児童や保護者の一層の安心のため、公立保育園における給食用食材の放射性物質検査を実施し、いずれも放射性物質は検出されませんでした。

〔実績・内容〕

放射性物質検査

- 実施日 平成28年 7 月 5 日～18日
- 対象園 公立保育園 13園（各園 1 回）
- 検査品目 園児に提供した給食（一食まるごと検査）

－ 安全安心 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

5 公立保育園の弾力運用による保育定員の拡充 4,958,000円 4,578,650円

＜公設公営保育園運営事業費、公設民営保育園運営事業費＞

保育ニーズの拡大に伴う入園希望者数の増加に対応するため、平成28年4月から公立保育園4園において3歳児クラスの弾力運用による定員拡充を行いました。

〔実績・内容〕

保育園	児童数（3歳児クラス）		
	拡充前	拡充後	増減
中央保育園	25人	28人	+3人
下連雀保育園	22人	24人	+2人
あけぼの保育園	22人	25人	+3人
こじか保育園	12人	14人	+2人
合 計	81人	91人	+10人

－ 子ども・子育て支援 －

6 私立認可保育園の運営支援 625,726,000円 564,543,529円

＜私立保育園運営事業費＞

(1) 新たに開設した私立認可保育園の運営支援 259,279,000円 221,644,408円

待機児童の解消と多様化する保育ニーズに対応するため、平成28年4月に開設した「にじいろ保育園三鷹牟礼」及び「牟礼の森トキ保育園」に対して運営費を支援しました。

〔施設概要〕

にじいろ保育園三鷹牟礼

所在地 牟礼一丁目

定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	6人	14人	16人	20人	20人	20人	96人

牟礼の森トキ保育園

所在地 牟礼四丁目

定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	9人	10人	10人	10人	0人	0人	39人

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

分担金負担金	29,286,700円	国庫支出金	32,841,000円
都支出金	16,420,000円	一般財源	143,096,708円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

(2) 公立保育園の民設民営化への円滑な移行 366,447,000円 342,899,121円

公私連携型の運営形態を活用して平成28年4月から民設民営園となった「三鷹赤とんぼ保育園」と「三鷹南浦西保育園」に対して運営費を支援しました。

〔施設概要〕

三鷹赤とんぼ保育園（三鷹台保育園と高山保育園の統合園）

所在地 牟礼三丁目

定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	12人	20人	24人	25人	25人	25人	131人

三鷹南浦西保育園

所在地 下連雀七丁目

定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	0人	20人	24人	25人	24人	24人	117人

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

分担金負担金	62,439,500円	国庫支出金	51,862,000円
都支出金	25,931,000円	一般財源	202,666,621円

7 グループ型家庭的保育施設の運営支援 19,496,000円 19,496,000円

＜地域型保育給付関係費＞

待機児童の解消や多様な保育ニーズに対応するため、平成28年4月に個人型家庭的保育施設からグループ型家庭的保育施設へ移行したNPO法人に、安定的な運営が行えるよう支援を行いました。

〔施設概要〕

いずみ保育園

所在地 大沢三丁目

定員 10人（5人×2グループ）

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

国庫支出金	5,936,000円	都支出金	2,968,000円
一般財源	10,592,000円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

8 認可外保育施設利用助成の拡充 75,165,000円 65,772,839円

＜認可外保育施設利用助成事業費＞

認可外保育施設の利用者に対する保育料の一部助成について、月額1万円としていた助成金額を平成29年1月から2万円に増額しました。拡充に当たっては、東京都の「認可外保育施設利用支援事業補助金」を活用しており、東京都の補助期間に合わせて31年度まで実施します。

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

都支出金	38,500,000円	一般財源	27,272,839円
------	-------------	------	-------------

9 私立認可保育園の開設支援 310,442,970円 285,582,000円

＜私立保育園整備事業費＞

国の待機児童解消加速化プランに基づき、保育所待機児童の解消を図るため、平成29年4月に開設した「三鷹どろんこ保育園」及び「グローバルキッズ三鷹園」に対して整備費を支援しました。開設支援に当たっては、国の「保育所等整備交付金」などを活用しました。

〔施設概要〕

三鷹どろんこ保育園

所在地 井口一丁目

定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	6人	15人	18人	20人	20人	20人	99人

グローバルキッズ三鷹園

所在地 下連雀三丁目

定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	9人	15人	18人	19人	19人	19人	99人

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

国庫支出金	153,528,000円	都支出金	56,430,000円
一般財源	75,624,000円		

■三鷹どろんこ保育園（左）、グローバルキッズ三鷹園（右）



10 認証保育所の認可保育園への移行支援

192,945,000円 185,320,000円

＜認証保育所認可化移行支援事業費＞

平成29年4月に開設した「牟礼の森トキ保育園分園」（旧保育園トキ）の認証保育所から認可保育園への移行を支援しました。また、移行園の建替え期間中は、旧高山保育園を仮園舎として貸付しました。

助成に当たっては、東京都の「多様な主体による保育所緊急整備事業補助金」などを活用しました。

〔施設概要〕

牟礼の森トキ保育園分園

所在地 牟礼四丁目

定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
0人	5人	6人	25人	25人	25人	86人

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

国庫支出金 5,884,000円

都支出金 147,568,000円

一般財源 31,868,000円

11 公有地を活用した待機児童解消に向けた取り組み

29,088,840円 24,515,240円

＜旧高山保育園管理関係費＞

平成27年度に廃園した旧高山保育園の跡地を活用して、公有地活用型私立認可保育園の開設を支援し、待機児童の解消に向けた取り組みを進めることとしました。公募により事業者を決定し、30年4月の開設に向けて、29年4月から旧園舎の解体工事に着手するため準備を進めました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔開設する私立認可保育園の概要〕

名 称 みたか小鳥の森保育園（分園）
 設置主体 社会福祉法人 みたか小鳥の森福社会
 所 在 地 牟礼四丁目
 開設時期 平成30年 4 月

定 員	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
	0人	5人	6人	25人	25人	25人	86人

〔債務負担行為の内容〕

旧高山保育園園舎解体事業 32,080,000円（平成29年度＜債務負担分＞）

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

都 支 出 金	608,000円	一 般 財 源	23,907,240円
---------	----------	---------	-------------

12 保育環境改善事業の実施 254,877,000円 141,658,000円

＜保育環境改善事業費＞

平成27年 8 月に創設された東京都の「保育士等キャリアアップ補助金」等を活用し、私立保育園等の保育士のキャリアアップを処遇改善につなげるための支援を実施するとともに、延長保育や一時預かり事業などの地域の実情に応じた保育サービスの充実を図る事業者に助成を行いました。

〔対象施設〕

私立認可保育園、認定こども園、地域型保育施設、認証保育所、
 公設民営保育園（処遇改善のみ）

〔経費の内訳〕

キャリアアップ補助事業 102,645,000円
 保育サービス推進事業 39,013,000円

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

都 支 出 金	116,734,000円	一 般 財 源	24,924,000円
---------	--------------	---------	-------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

13 保育人財の確保・定着支援 49,106,400円 14,858,000円

＜保育従事職員宿舎借り上げ支援事業費＞

保育人財の確保・定着を目的とした国・東京都の補助金を活用し、保育士用の宿舎の借り上げを行う私立保育園等の運営事業者を支援しました。

年度途中からは、東京都の「待機児童解消に向けた緊急対策」を活用し、対象者を保育従事職員に拡充して事業を実施しました。

〔実績・内容〕

対象者 保育士、看護師、栄養士等の常勤職員 16園43人
助成額 1人当たり月額71,750円（上限額）

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

国庫支出金	8,104,000円	都支出金	4,631,000円
一般財源	2,123,000円		

14 子ども・子育て利用者支援事業の拡充 6,694,000円 6,350,545円

＜東児童館子育て相談事業費、西児童館子育て啓発事業費、西児童館子育て相談事業費＞

家庭（在宅）における子育て不安や孤立感の解消を図るため、東・西児童館において、新たに子育て支援コーディネーター等の相談員を配置し、子育て中の親などが円滑に施設を利用できるよう、利用者支援事業を拡充して実施しました。

〔実績・内容〕

配置人員 子育てコーディネーター（東・西児童館） 各1人
子育てサポーター（西児童館） 1人
配置場所 各児童館内遊戯室
配置日時 月～金曜日の午前9時～午後1時（乳幼児事業の実施時間）
相談者数 東児童館：2,499人、西児童館：4,448人
相談内容 健康、家庭・生活環境、発育・発達、養育不安、虐待、
基本的生活習慣、教育・しつけ など

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

国庫支出金	1,769,000円	都支出金	1,769,000円
一般財源	2,812,545円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

■在宅子育て支援事業全体

事業名	決算額
利用者支援事業	12,620,880円
ファミリー・サポート・センター事業	8,412,088円
保育園地域開放事業	1,472,027円
子育てひろば事業	24,729,000円
インターネット子育て支援事業	5,607,360円
乳児家庭全戸訪問事業	1,070,732円
一時預かり事業	27,381,000円
養育支援訪問事業	294,154円
緊急一時保育事業	1,574,160円
子どもショートステイ事業	2,128,000円
合計	85,289,401円

15 児童館の多世代交流拠点化及び施設リニューアルに向けた取り組み

＜多世代交流センター関係費＞ 46,835,000円 7,327,862円

平成29年4月に多世代交流センターとして新たにオープンした東・西児童館について、多世代交流の拠点としての活用に向けた検討を進めました。31年度の施設のリニューアルオープンに向けて30年度に改修を行うこととしており、耐震診断やアスベスト等調査を実施するとともに、基本プランを策定しました。

なお、基本プランの策定から設計業務までを切れ目なくスピード感をもって取り組むため、28年度12月補正予算で事業費を計上し、繰越明許費を設定のうえで事業を繰り越しました。

また、西児童館においては、中高生を対象とした居場所づくりのモデル事業として、毎週木曜日の開館時間を2時間延長し、相談員が中高生等の勉強や不登校、進路（進学）、人間関係など多岐に渡る悩みの相談を行いました。

〔基本プランの概要〕

- ・基本コンセプトに基づく4つの柱の基本プラン
 - 地域の大人が「じっくり」ゾーン（生涯学習支援機能の充実）
 - 赤ちゃん・子どもが「すこやか」ゾーン（児童館機能の充実）
 - 若者同士が「のびのび」ゾーン（若者支援機能の充実）
 - 多世代が「生き生き・はつらつ」と学びの循環（多世代交流機能の充実）
- ・施設のリニューアルイメージ
- ・スケジュール

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔モデル事業の概要・実績〕

中高生の居場所づくりモデル事業「ユースタイムセブン」

開催時間 毎週木曜日午後5～7時

開催場所 西児童館遊戯室・視聴覚室

利用者数 377人（1回平均 8人）

〔繰越明許費繰越額〕

平成29年度への繰越分

基本プラン等策定支援業務委託料 37,138,000円

－ コミュニティ創生 －

－ 子ども・子育て支援 －

16 学童保育所待機児童の解消に向けた取り組み 40,214,072円 39,175,989円

(1) 学童保育所の定員拡充 2,662,000円 2,401,910円

＜学童保育所管理関係費＞

学童保育所の待機児童の解消に向け、平成28年4月から五小学童保育所の定数を弾力運用により80人から96人に拡充しました。

また、連雀学園地域（第四小学校、第六小学校、南浦小学校）の待機児童数が増加傾向にあることから、四小学童保育所において試行的に、夏休み期間中の受け入れ児童の定員を12人拡充しました（実際の受け入れ児童数は5人）。

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

使用料手数料	486,000円	国庫支出金	238,000円
都支出金	1,397,000円	一般財源	280,910円

(2) 夏休みひろば事業の実施 3,258,000円 3,000,000円

＜連雀学園学童待機児童夏休みひろば事業費＞

連雀学園地域において学童保育所待機児童を対象とした「夏休みひろば事業」を実施し、夏休み期間中においても児童が安全に過ごし、保護者が安心して働くことができる環境づくりに取り組みました。

〔実績・内容〕

実施場所 第四小学校、第六小学校、南浦小学校の教室

実施期間 平成28年7月21日～8月31日 午前8時30分～午後6時

受入れ児童数 35人

－ 子ども・子育て支援 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

諸収入	175,000円	一般財源	2,825,000円
-----	----------	------	------------

(3) 学童保育所の新設 34,294,072円 33,774,079円

＜高山小学童保育所整備事業費、連雀学園学童保育所整備事業費＞

学童保育所の待機児童の解消に向け、民間施設の活用やリース方式による施設整備に取り組みました。なお、連雀学園学童保育所は、早期に対応を図るため、平成29年2月に開設しました。

〔施設概要〕

連雀学園学童保育所

所在地 下連雀七丁目

定員 70人

開所 平成29年2月

高山小学童保育所C

所在地 牟礼三丁目

定員 65人

開所 平成29年4月

〔債務負担行為の内容〕

高山小学童保育所C施設使用料 104,716,800円

(平成29～38年度＜債務負担分＞)

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

国庫支出金	4,592,000円	都支出金	6,796,000円
一般財源	22,386,079円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

生活保護費

1 生活保護受給者の自立支援と適切な制度運用 31,721,000円 30,431,621円

＜就労支援事業費、金銭管理支援事業費、年金・資産等調査事業費＞

生活保護受給者の自立へ向けた支援を総合的、組織的に実施するため、自立支援プログラムに基づき、重層的な就労支援や金銭管理支援に取り組みました。また、生活保護受給者の年金・資産等調査の強化のため、職員体制を拡充し、生活保護制度の適正運用を図りました。

こうした自立支援の取り組みなどにより、生活保護受給世帯数や生活保護費は前年度を下回りました。

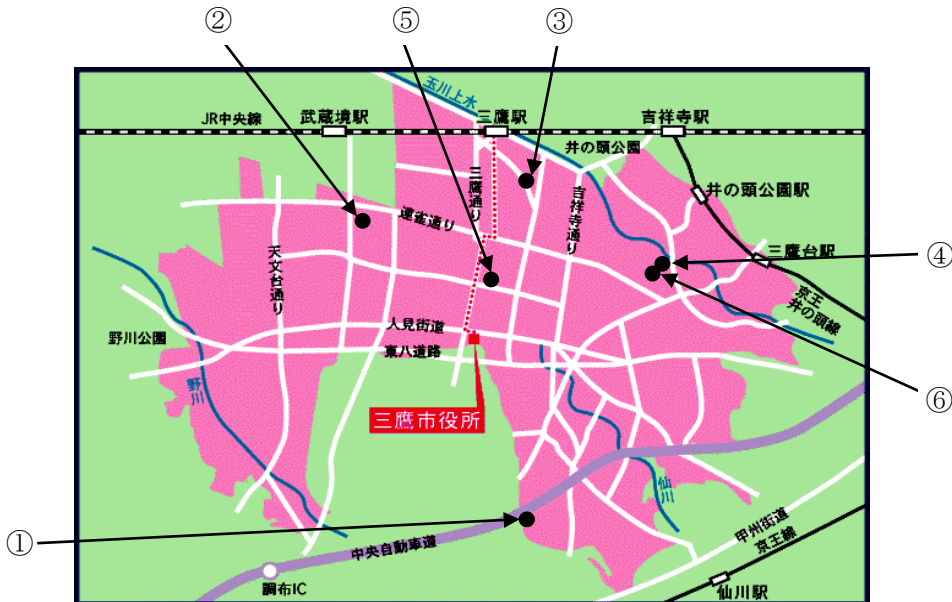
－ セーフティーネット －

【財源内訳】

国庫支出金	19,632,001円	一般財源	10,799,620円
-------	-------------	------	-------------

決算額

平成28年度に取り組んだ主な施設整備



【社会福祉費】

- ① (仮称) グループホーム「ふぁみりあ」

認知症高齢者グループホームの整備

【児童福祉費】

- ## ②三鷹どろんこ保育園

私立認可保育園の開設支援

- ### ③グローバルキッズ三鷹園

私立認可保育園の開設支援

- #### ④牟礼の森トキ保育園分園

認証保育所の認可保育園への移行支援

- ⑤連雀学園学童保育所

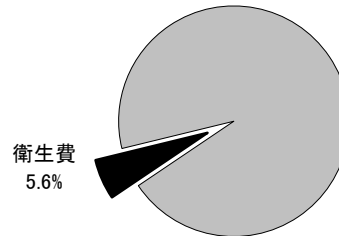
学童保育所の新設

- ⑥高山小学童保育所C

学童保育所の新設

第4款 衛生費

■一般会計に占める割合



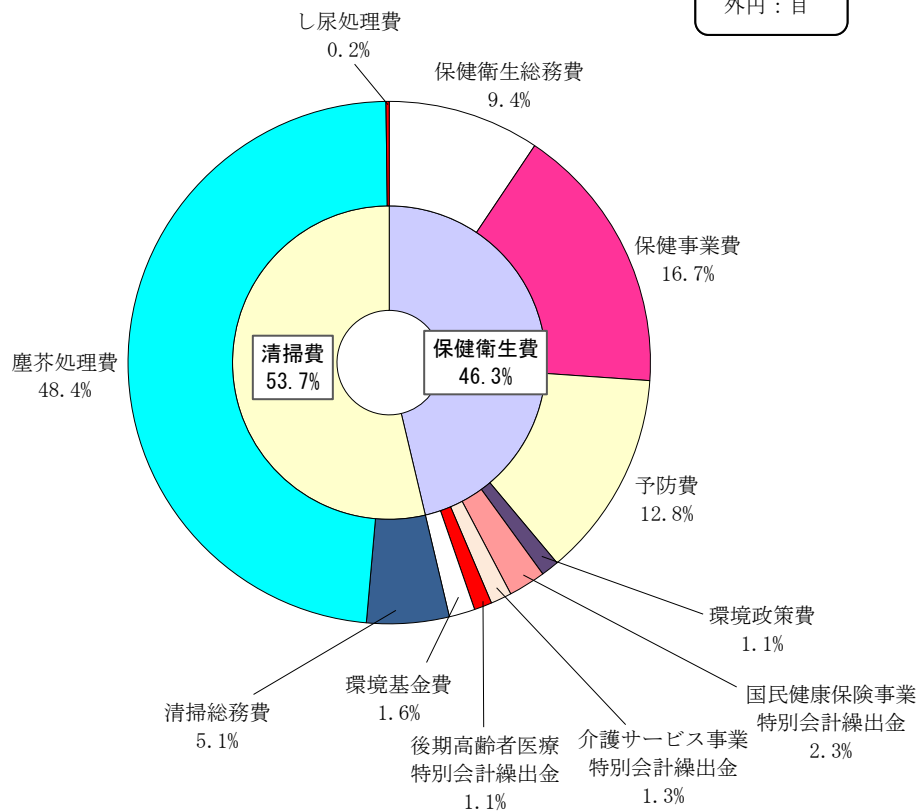
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
平成28年度	4,192,129	3,875,388	395,221	0	451,612	3,028,555	92.4%
平成27年度	3,788,185	3,610,288	400,200	0	488,215	2,721,873	95.3%
増減	403,944	265,100	△4,979	0	△36,603	306,682	—

決 算 額 項 別 目 別 構 成 比

内円：項
外円：目



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

保健衛生費

1 災害時医薬品備蓄の拡充 4,103,000円 4,029,696円

＜災害時医薬品備蓄管理関係費＞

年次計画に基づき、災害時応急救護用医薬品等の入れ替えを行いました。また、避難所協定を締結し市の備蓄物資を保管している私立学校の防災倉庫に、新たに応急救護医薬品等を配備し、災害時における救護活動体制の更なる強化を図りました。

〔実績・内容〕

災害時応急救護用医薬品等入替箱数 205箱

- ・ 小学校 5校 各25箱
（第一小学校、第二小学校、第七小学校、東台小学校、羽沢小学校）
- ・ 中学校 2校 各25箱
（第一中学校、第二中学校）
- ・ 避難所協定を締結している私立学校 3校 各10箱
（明星学園小中学校、国際基督教大学、ルーテル学院大学）

－ 安全安心 －

2 骨髄移植ドナーの支援 423,000円 280,000円

＜骨髄移植ドナー支援事業費＞

骨髄移植及びドナー登録の促進に向けた環境整備を図るため、（公財）日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業で、骨髄・末梢血幹細胞を提供した市民（ドナー）に対して、助成を行いました。

〔実績・内容〕

申請件数 ドナー 2件

交付金額 1日につき2万円（通算7日を上限）

－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

都 支 出 金	140,000円	一 般 財 源	140,000円
---------	----------	---------	----------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
3 妊婦健康診査の公費負担の拡充	147,528,000円	137,144,259円
＜妊婦・乳児健康診査等関係費＞		
新たにH I V検査及び子宮頸がん検査を公費負担の対象項目に追加し、より安全な出産につながるよう妊婦健康診査を拡充して実施しました。		
〔実績・内容〕		
H I V検査を含む妊婦健診（1回目）受診者数 1,537人	14,878,160円	
子宮頸がん検査受診者数 1,353人	4,600,200円	
－ 子ども・子育て支援 －		
【財源内訳】		
繰入金 10,000,000円	一般財源 127,144,259円	
4 出産・子育て応援事業の実施	31,569,000円	22,337,972円
＜出産・子育て応援事業費＞		
妊婦の不安を軽減するとともに、産後うつや虐待等の問題を発生させない支援を行うため、総合保健センターを拠点として、妊娠届を提出した全ての妊婦を対象に保健師等の専門職による面接（ゆりかご面接）を実施しました。		
「ゆりかご面接」を終えた妊婦には、育児パッケージ（こども商品券）を贈呈するなど、出産・子育てを応援するため、積極的な取り組みを進めました。		
また、「ゆりかご面接」により、支援の必要な妊婦を早期に把握し、面接後も関係機関と連携してフォローするなど、きめ細かな支援を実施しました。		
〔実績・内容〕		
妊婦面接実施者数 1,303人		
子ども商品券贈呈数 1,318件（多胎児15人含む）		
保健師が継続フォローした人数 117人（うち特定妊婦27人）		
出産予定日が年度内の妊婦に対する面接実施率 83.61%		
－ 子ども・子育て支援 －		
【財源内訳】		
国庫支出金 1,592,000円	都支出金 20,215,000円	
一般財源 530,972円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

5 親子グループ等による発達支援の拡充 3,412,000円 3,233,040円

＜発達支援親子グループ事業費＞

健康診査等の結果、発達上経過観察が必要とされた幼児に対して、集団指導や個別相談を実施する中で「アセスメント（＝評価）」を行い、早期に必要な育児支援や専門支援につなげる取り組みを進めました。

〔実績・内容〕

	登録実人数	参加延人数	備考
プレ親子グループ (1歳6か月児健診翌月より3回コースで実施)	114	272	課題の大きい幼児は「子ども発達支援センター」の支援へ移行(11人) 親支援が必要な場合は親子グループへ移行(79人)
親子グループ (プレ親子グループ終了後より6回コースで実施)	79	224	初回に心理相談員と作業療法士による講座を開催 終了後、課題のある幼児は「子ども発達支援センター」の支援へ移行(9人)

－ 子ども・子育て支援 －

6 「愛歯のつどい(50周年事業)」の開催 1,248,000円 1,100,102円

＜妊婦・乳幼児歯科保健事業費＞

市民の口腔衛生の向上を図るため、三鷹市歯科医師会との共催により実施している「愛歯のつどい」が50周年を迎えることから、内容を拡充して実施しました。

〔実績・内容〕

開催日 平成28年6月11日(土)

開催場所 三鷹市公会堂「光のホール」

事業内容 ・教育評論家 尾木直樹氏による講演会
・歯科医師による歯科相談及び口腔衛生に関する体験コーナー

講演会参加者数 424人

歯科相談及び体験コーナー参加者数 53人

－ 健康長寿社会 －

■歯科相談(左)、体験コーナー(右)



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

7 健康診査受診率向上の取り組み 1,259,000円 1,258,200円

＜若年・一般健康診査関係費、後期高齢者健康診査関係費＞

特定健康診査（国民健康保険事業特別会計）、若年・一般健康診査及び後期高齢者健康診査の受診率向上を図るため、医療機関での受診時に市指定の家庭系ごみ収集袋（5リットル×10枚）を配布しました（特定健康診査は184ページ参照）。

〔実績・内容〕

配布実績

若年・一般健康診査等	2,082セット
後期高齢者健康診査	10,841セット

－ 健康長寿社会 －

8 大腸がん検診の拡充 34,724,000円 23,864,106円

＜若年・一般健康診査関係費、特定健康診査関係費、後期高齢者健康診査関係費、がん検診関係費＞

若年・一般健康診査、特定健康診査及び後期高齢者健康診査の上乗せ健康診査である便潜血検査について、1回法から2回法に見直し、国の基準による大腸がん検診として位置付け実施しました。これにより、大腸がん検診の受診者数が大幅に増加しました。

なお、見直しに当たっては、大腸がん検診と同様に受診者の一部費用負担（500円）を導入し、受益と負担の適正化を図りながら実施しました。

〔実績・内容〕

大腸がん検診受診者数

平成28年度	21,781人
平成27年度	1,323人

－ 健康長寿社会 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

9 健康づくりイベントの実施 246,000円 232,134円

＜地域健康づくり推進事業費＞

平成27年度に引き続き、健康づくりイベント「ケンコウデスカ？デー」を開催しました。「ちょっと実行、ずっと健康」をテーマに、簡単な健康チェックや体験コーナーなどを通して、気軽に実践できる生活習慣の改善方法を提案するなど、健康づくりについての意識啓発を図りました。

なお、実施に当たっては、東京都及びNPO法人ブレイブサークル運営委員会が主催する大腸がん健診普及啓発事業「T o k y o健康ウォーク2016」のプレイベントを同時開催するなど、内容の充実を図りました。

〔実績・内容〕

開催日	平成28年10月9日（日）
開催場所	三鷹市総合保健センター
事業内容	・大腸がん検診の普及・啓発 （「T o k y o健康ウォーク2016」プレイベント） ・野菜の計量体験と野菜の摂取に関するアドバイス ・アルコールパッチテスト ・血圧測定、禁煙指導と栄養相談 ・骨密度測定（超音波検査）と骨粗しょう症予防に関するアドバイス ・消費カロリー計算と栄養指導、健康運動指導士による運動体験 ・自己触診による乳がん予防指導 ・口腔衛生に関するアドバイス
来場者数	613人

－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

都支出金	68,000円	一般財源	164,134円
------	---------	------	----------

■東京都健康づくり推進キャラクター「ケンコウデスカマン」（左）、大腸トンネル（右）



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

10 自殺予防対策事業の拡充 574,000円 434,108円

＜自殺予防対策事業費＞

自殺の現状や自殺予防について理解し、適切な支援につなぐことができるよう、引き続き、市職員、民生・児童委員及び地域包括支援センター職員を対象としたゲートキーパー養成講座を実施しました。また、相談支援に係る庁内関係部署及び関係機関との更なる連携を進めました。

さらに、自殺のリスクを抱える市民が、悩みに応じて適切な相談窓口を利用することができるよう、リーフレット等による周知を図ったほか、図書館との共催で書籍等を紹介するなど、意識啓発に取り組みました。

※ ゲートキーパー…悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞き、支援につなげ、見守っていく人

〔実績・内容〕

ゲートキーパー養成講座（開催回数 6回）

受講者数 市職員 304人

民生・児童委員 20人

地域包括支援センター職員 23人

図書館との共催による企画展示「つらい気持ちを抱えているあなたへ」

- ・自殺予防に関するパネル展示、リーフレット配布
- ・関連図書リストの配布と貸出し

－ セーフティーネット －

【財源内訳】

国庫支出金	215,000円	一般財源	219,108円
-------	----------	------	----------

11 乳幼児B型肝炎ワクチン接種の実施 24,906,433円 21,893,222円

＜乳幼児等予防接種事業費＞

平成28年10月から法定接種化されたB型肝炎ワクチン接種について、1歳未満の乳児を対象に、全額公費負担で実施しました。

実施に当たっては、対象者に対して定期接種化に関する案内を送付するとともに、広報・ホームページ等による周知を行いました。

〔実績・内容〕

接種者数 2,473人

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

諸収入	1,191,091円	一般財源	20,702,131円
-----	------------	------	-------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

12 「サステナブル都市三鷹」の実現に向けた研究の推進 37,000円 0円
 ＜サステナブル都市推進関係費＞

「サステナブル都市三鷹」の実現に向け、サステナブル都市政策検討チームにおいて、引き続き「市民協働型グローバル観光化推進事業」、「三鷹市における次世代エネルギーの活用に向けた政策研究」の検討を行いました。その結果、現状分析、課題の把握、施策の方向性の整理など、一定のとりまとめが行われたことから、チームとしての研究・検討は終了し、平成29年度以降は主管課等において、事業化に向けた研究・検討を継続することとしました。

〔実績・内容〕

28年度実施事業及び継続事業

結果	事業名	備考
28年度事業化	太陽光発電設備等整備事業	市立小中学校に太陽光発電設備及び蓄電池を設置
検討終了 (検討結果を踏まえ、 主管課等で研究を継続)	市民協働型グローバル観光化推進事業	
	三鷹市における次世代エネルギーの活用に向けた政策研究	

－ サステナブル都市 －

13 環境保全に関する意識啓発の取り組み 1,133,659円 1,108,235円
 ＜環境学習事業費＞

6月の環境月間に実施しているエコミュージカルを、市民参加型の環境イベントとして充実を図りました。市内在住の小学生（2～6年生）を募集し、オーディションと7回のレッスンを経て47人が出演しました。実施に当たっては、（公財）東京市町村自治調査会の「みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成金」を活用しました。

〔実績・内容〕

内 容 エコミュージカルファンタジー「エコ??の国のありす」
 開 催 日 平成28年6月26日（日）
 場 所 三鷹市公会堂 光のホール
 出 演 者 小学生47人、市内劇団
 参加者数 614人

－ サステナブル都市 －

【財源内訳】

諸 収 入	970,000円	一 般 財 源	138,235円
-------	----------	---------	----------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

■エコミュージカルファンタジー「エコ??の国のありす」



- | | | |
|---------------------------------------|----------|----|
| 14 新エコタウン開発奨励事業の推進
＜新エコタウン開発奨励事業費＞ | 110,000円 | 0円 |
|---------------------------------------|----------|----|

平成27年度にリニューアルした「新エコタウン開発奨励制度」について、開発事業者等に向けて積極的な情報提供等を行いました。28年度は制度対象となる大規模な開発事業がなかったため申請はありませんでした。なお、本制度は28年度までのサンセット事業であり、旧制度を含め一定の成果を挙げたことから事業を終了しました。

－ サステナブル都市 －

- | | | |
|---|------------|----|
| 15 既存民間建築物のアスベスト対策の推進
＜アスベスト調査助成事業費＞ | 3,000,000円 | 0円 |
|---|------------|----|

建築物に使用されている吹付けアスベストの飛散防止対策を推進するため、平成18年度に創設した建築物アスベスト調査経費助成制度を拡充して実施しました。アスベスト建材の使用が疑われる建築物の所有者へパンフレットを送付するなど、アスベストへの注意喚起や制度の周知を図りましたが、助成申請はありませんでした。

－ 安全安心 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

16 PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物の適正な処理の実施

＜PCB廃棄物処理事業費＞ 6,470,000円 1,415,880円

「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」及び「東京都ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画」等に基づき市が保管しているPCB廃棄物について、近郊の認定施設に微量PCB廃棄物を運搬し、処理を行いました。

また、三鷹中央防災公園・元気創造プラザに集約された公共施設等に保管していた高濃度PCB廃棄物について、市役所第二庁舎の保管場所に移動、集約を行い、平成30年度以降の処理に向けた対応を図りました。

－ 安全安心 －

清掃費

1 環境センター跡地の利活用の検討 133,124,000円 57,999,872円

＜環境センター跡地利活用関係費＞

平成27・28年度で実施した土壌調査の結果等を踏まえ、解体及び土壌対策の設計を行う中で、資材等の高騰による受注環境の変化等を総合的に勘案し、より慎重に検討を進めることとしました。このため、設計内容を一部変更するとともに、28年度3月補正予算で繰越明許費を設定のうえ、29年6月まで契約を延長しました。

また、土壌環境基準を超過している区画の一部の土壌に対して、暫定的な飛散防止措置（表層をシートで被覆）を行いました。

〔繰越明許費繰越額〕

平成29年度への繰越分

解体設計等委託料 13,084,000円

－ 都市再生 －

－ 安全安心 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

2 スマートフォンアプリを活用した「三鷹市ごみ分別アプリ」の導入

＜リサイクルカレンダー関係費＞ 616,000円 421,200円

市民の利便性の向上やごみ減量に向けた情報提供の充実を図るため、スマートフォンやタブレット端末で確認できるアプリケーション「三鷹市ごみ分別アプリ」を導入しました。

〔実績・内容〕

アプリの主な機能

- ・収集日カレンダー
- ・ごみの出し忘れアラート機能
- ・ごみ分別辞典
- ・ごみや資源ごとの主な品目と出し方
- ・よくある質問

アプリダウンロード数

2,906件（平成28年8月～29年3月）

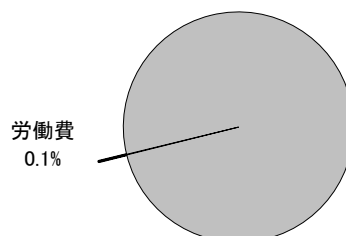
－ サステナブル都市 －

■カレンダー付ホーム画面



第5款 労働費

■一般会計に占める割合



■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源	執行率
平成28年度	66,012	61,623	8,042	0	0	53,581	93.4%
平成27年度	66,233	61,897	8,018	0	0	53,879	93.5%
増減	△221	△274	24	0	0	△298	—

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算現額

決算額

労働諸費

1 人づくり・人材確保支援事業の実施

35,119,300円

27,988,836円

「東京都人づくり・人材確保支援事業補助金」を活用し、人財育成などを通じた地域の企業等での継続雇用や就業を支援することにより、地域の実情に応じた労働力の確保へとつなげるとともに、市民サービスの向上を図りました。

ー セーフティーネット ー

【財源内訳】

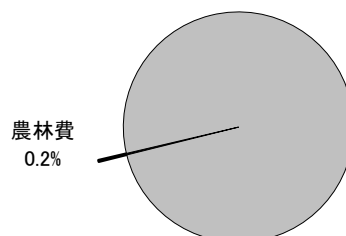
都支出金 27,988,836円

■事業一覧

	事業名	予算現額	決算額	参照ページ
総務費	天文・科学情報普及事業を通じた人財育成事業	15,596,300円	11,873,113円	68ページ
商工費	三鷹地域サポートコーディネーター育成事業	9,843,000円	7,824,803円	130ページ
教育費	貴重資料等のデジタル化等に係る人財育成・就業支援事業	5,309,000円	5,290,920円	—
教育費	埋蔵文化財調査員養成事業	4,371,000円	3,000,000円	162ページ
		35,119,300円	27,988,836円	

第6款 農林費

■一般会計に占める割合



■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
平成28年度	157,397	152,031	19,974	0	4,047	128,010	96.6%
平成27年度	208,359	181,010	44,467	0	10,150	126,393	86.9%
増減	△50,962	△28,979	△24,493	0	△6,103	1,617	—

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算現額

決算額

農業費

1 市民農園の一体的な管理運営

12,148,000円

11,970,058円

＜市民農園管理運営費＞

平成28年4月から市民農園と旧老人レジャー農園を一体的に管理運営し、大沢市民農園で行っていた栽培講習会を、全ての市民農園の利用者を対象に三鷹緑化センターで開催するなど、利用者サービスの質の向上を図りました。また、一部利用料金の見直しを行い、受益と負担の適正化を図りながら、効率的な運営に取り組みました。

〔実績・内容〕

栽培講習会参加者数 101人

－ 地域活性化 －

【財源内訳】

都支出金 1,787,000円

諸収入 3,898,000円

一般財源 6,285,058円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

2 都市農業活性化支援事業の実施 21,586,000円 17,915,000円

＜都市農業活性化支援事業費＞

農産物の安定的生産、端境期の供給、高品質化等のための農業設備を導入する農業者に対して助成を行い、経営力の強化と都市農業の振興を推進しました。

なお、助成に当たっては、東京都の「都市農業活性化支援事業費補助金」を活用しました。

〔実績・内容〕

実施主体 三鷹市野菜生産組合に所属する認定農業者6戸

整備内容 パイプハウス 8棟 (1,101㎡)

養液栽培システム 2式 (929㎡)

保冷库 1台

野菜用自動販売機 2台

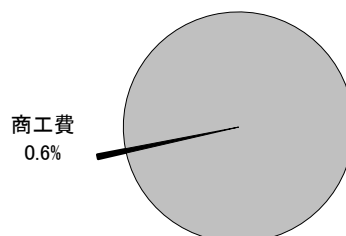
－ 地域活性化 －

【財源内訳】

都支出金	16,915,000円	一般財源	1,000,000円
------	-------------	------	------------

第7款 商工費

■一般会計に占める割合



■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
平成28年度	451,779	417,139	57,088	0	41,693	318,358	92.3%
平成27年度	522,471	456,131	142,975	0	41,522	271,634	87.3%
増減	△70,692	△38,992	△85,887	0	171	46,724	—

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算現額

決算額

商工費

1 商店会街路灯LED化の推進

594,000円

594,000円

＜商店街助成事業費＞

魅力ある商店街づくりを推進するとともに、CO₂削減等の環境に配慮した取り組みを支援するため、街路灯のLED化を進める商店会に対して助成を行いました。助成に当たっては、東京都から商店会への直接補助制度に加え、市独自の上乘せ補助により実施しました。

〔実績・内容〕

実施主体 新鷹商店会

整備内容 街路灯34基のLED化（ランプ交換のみ）

— サステナブル都市 —

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

2 買物環境の整備 5,000,000円 5,000,000円

＜買物環境整備事業費＞

「買物支援事業本部」を中心に、買物支援事業に参画する各協議会（商店会単位）の地域特性にあわせた取り組みを引き続き支援し、利用者が便利で楽しく買物ができる環境づくりを進めました。

平成28年度は、本部事業として、井の頭地域への宅配サービスを行う店舗情報を掲載した冊子を発行し、店舗の認知度アップと消費者の利便性向上を図りました。また、「買物応援キャラバン隊」の拡充（3店舗増）により、定期的な市場（マルシェ）の開催や商品の宅配サービスの実施など、支援の充実を図りました。

〔実績・内容〕

各協議会の取り組み

実施協議会	構成団体	取り組み内容
青柳協議会	青柳商店会	・あおやぎ市の開催 ・宅配サービスの周知
連雀通り協議会	連雀通り商店会	・連じやく朝市の開催 ・宅配サービスの周知
消研大通り協議会	消研大通り商店会	・消研だいいちの開催 ・宅配サービスの周知

※ 上記のほか10協議会が事業実施

－ コミュニティ創生 －

－ 地域活性化 －

3 都市型産業誘致の推進 55,274,000円 55,009,679円

＜都市型産業誘致促進事業費＞

「三鷹市都市型産業誘致条例」に基づき、引き続き事業者に向けて積極的な情報提供等を行い、次年度の工場移転に向けた相談（1件）に対応しましたが、新規指定はありませんでした。

また、既に指定している2事業者（4件）への助成を行いました。

－ サステナブル都市 －

【財源内訳】

都 支 出 金	10,000,000円	一 般 財 源	45,009,679円
---------	-------------	---------	-------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

4 ものづくり産業等の集積・強化 34,757,000円 27,708,048円

＜ものづくり産業集積推進事業費＞

三鷹市地域産業活性化計画（平成26～28年度）の最終年度の取り組みとして、引き続き、製造業の市内での操業継続に向けた支援を行いました。また、産業プラザの「ファブスペースみたか」に新たな機器整備を行い、機能拡充を図りました。実施に当たっては、東京都の「都内ものづくり企業立地継続支援事業費補助金」及び「ものづくり産業集積強化支援事業費補助金」等を活用しました。

〔実績・内容〕

ものづくり企業立地継続支援事業

事業所移転に伴う設備運搬1社、防音工事2社の費用助成

ものづくり産業集積促進事業

事業所移転に伴う建物の建設1社の費用助成

産業技術支援事業

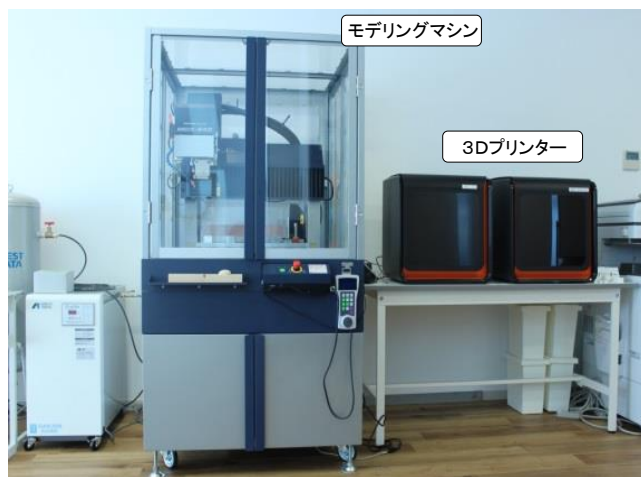
ファブスペースに3Dプリンター3台及びモデリングマシン1台等の配備

－ 地域活性化 －

【財源内訳】

都支出金	17,085,000円	一般財源	10,623,048円
------	-------------	------	-------------

■ファブスペースに配備した機器



5 多言語観光マップの作成 300,000円 300,000円

＜観光振興推進事業費＞

NPO法人みたか都市観光協会に対し、多言語観光マップの作成に係る経費を助成しました。観光マップは、多言語により三鷹駅前の飲食店等を紹介するもので、助成に当たっては、（公財）東京観光財団の助成金を活用しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

- ・ベーシックマップ（英語版・中国語版） 各10,000部
- ・和食マップ（英語版） 10,000部

－ 地域活性化 －

【財源内訳】

諸 収 入	150,000円	一 般 財 源	150,000円
-------	----------	---------	----------

■観光マップ



6 三立SOHOセンターの解体工事 ＜三鷹市三立SOHOセンター関係費＞

6,004,000円 5,797,116円

三立SOHOセンター建物の明渡し等に係る調停について、平成28年10月に和解が成立したため、児童遊園整備など今後の土地利用に向けた検討を行うとともに、建物の解体設計、アスベスト調査などを実施しました。

－ 安全安心 －

7 商店街活性化の推進

12,523,000円 10,504,803円

＜商店街活性化推進事業費＞

商店街のにぎわいづくりを目指し、ICTを活用した商店街の情報発信を支援するとともに、空き店舗を活用した多世代の居場所づくりなどを推進しました。

(1) 地域活性化サポーターの養成 9,843,000円 7,824,803円

商店街・地域の活性化に向けて、商店主に代わり、お買い得情報やおすすめ商品等についての記事や写真の投稿等を行うサポーターの養成講座を開催しました。開催に当たっては、「東京都人づくり・人材確保支援事業補助金」を活用しました（東京都人づくり・人材確保支援事業補助事業）。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

開講講座等の受講・参加人数（延べ人数）

- ・三鷹地域サポーター養成講座（各３回実施）

＜基礎編＞「取材・写真撮影・記事作成を学ぼう！」 28人

＜実践編＞「取材して記事を作ってみよう！」 22人

＜WEB・SNS基礎編＞「記事をアップしてみよう！」 31人

＜WEB・SNS実践編＞「ブログを開設し、記事を投稿してみよう！」 25人

- ・三鷹地域サポーター登録者数 12人

－ 地域活性化 －

【財源内訳】

都 支 出 金 7,824,803円

(2) みたかスペースあいの活用

2,680,000円 2,680,000円

平成27年１月に三鷹中央ビルの空き区画を活用した「みたかスペースあい」で、様々な会員団体がイベント等を実施することによって、子育て世代・シニア世代の交流場所として活用を図りました。

〔実績・内容〕

会員数 12団体（平成29年３月末時点）

利用者数（延べ人数） 6,500人

稼働率 35.1%

－ 地域活性化 －

8 三鷹市観光基本方針の策定

67,000円 45,907円

＜観光基本方針策定関係費＞

平成29年３月に観光を軸とした民学産公の協働のまちづくりの指針となる「三鷹市観光基本方針」を策定しました。

市民・関係団体等との協働により、検討委員会・ワーキングチームにおいて検討を進め、基本理念を「市民が観光大使～住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹～」としました。

〔実績・内容〕

検討委員会 3回開催

ワーキングチーム 4回開催

－ 地域活性化 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

9 「三鷹版 働き方改革応援プロジェクト」の推進	11,765,000円	11,764,845円
〔うち平成27年度からの繰越分〕	11,765,000円	11,764,845円

＜働き方改革応援事業費（繰越明許費執行額）＞

「三鷹市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「三鷹版 働き方改革応援プロジェクト」として、三鷹産業プラザ1階に「ファブスペースみたか」を移設し、ものづくりを中心としたコミュニティづくりの支援に取り組みました。

なお、国の補正予算による交付金を有効活用するため、平成27年度3月補正予算で事業費全額を計上したうえ、28年度に繰り越して執行しました。

〔実績・内容〕

- ・ファブスペースの会員数 130人
- ・ファブスペースの機器整備
電子ミシン、3Dペン
- ・ものづくりコンテストの開催
募集期間 平成28年10月25日（火）～平成29年1月31日（火）
応募点数 63点
応募者数 52人
- ・専門講師による講演会と見学会及び無料体験会の開催
日 時 平成28年6月11日（土）
参加者数 講演会 60人
見学会 63人
- ・ワークショップの開催
開催回数 19回
参加者数 延べ232人
- ・ファブスペースのレンタルボックスの貸し出し
利用開始 平成28年8月
募集区画 12区画
利用件数 延べ76件

－ 地域活性化 －

【財源内訳】

国庫支出金	11,764,845円
-------	-------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

10 消費者啓発の拡充 1,162,000円 1,159,800円

＜三鷹市市民のくらしを守る会議関係費＞

国、東京都及び市が「消費者月間」としている5月と10月に「消費者被害防止キャンペーン」を拡充して実施しました。三鷹市市民のくらしを守る会議を中心に、三鷹市消費者団体連絡会等と協働し、最新の悪質商法によるトラブルの手口の紹介や相談窓口の周知などを行いました。拡充に当たっては、東京都の「地方消費者行政推進交付金」を活用しました。

〔実績・内容〕

実施回数 全10回

5月

メインキャンペーン：三鷹駅南口周辺 1回

その他：市内スーパーマーケット、三鷹台駅、市庁舎1階ホール 計4回

10月

メインキャンペーン：三鷹駅南口周辺 1回

その他：市内スーパーマーケット、三鷹台駅 計4回

－ 安全安心 －

【財源内訳】

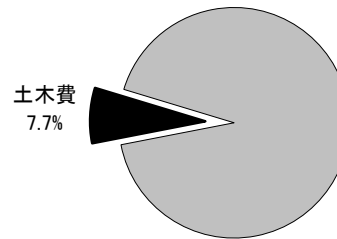
都支出金 1,159,800円

■三鷹駅南口での消費者被害防止キャンペーン



第8款 土木費

■一般会計に占める割合



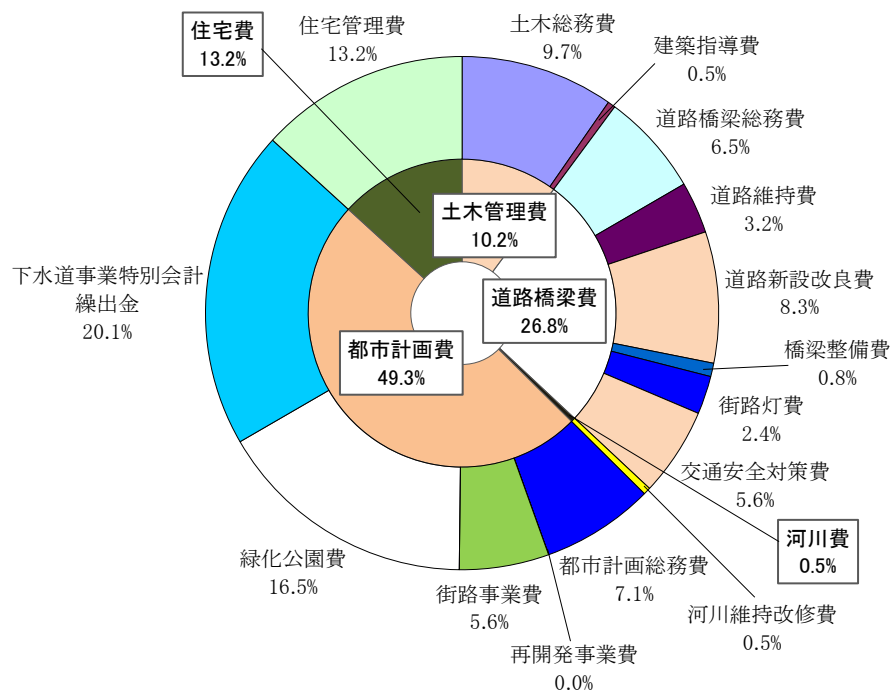
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
平成28年度	6,030,079	5,316,670	927,383	309,000	94,925	3,985,362	88.2%
平成27年度	5,978,970	5,162,790	579,614	277,000	176,523	4,129,653	86.3%
増減	51,109	153,880	347,769	32,000	△81,598	△144,291	—

決算額項目別構成比

内円：項
外円：目



道路橋梁費

1 市道第135号線（三鷹台駅前通り）整備の促進 142,156,000円 126,202,318円

＜市道第135号線（三鷹台駅前通り）整備事業費＞

平成17年度に策定した「三鷹市道第135号線緊急整備方針」に基づき進めている三鷹台駅周辺区域（三鷹台交番～立教女学院区間 延長約232m）の整備について、バリアフリーに配慮した歩行空間とするため、踏切以南西側（164m）の電線類地中化（電線共同溝）等の整備を行いました。

〔スケジュール〕

平成29年度 引込管工事、入溝、電柱の抜柱

平成30年度 歩車道整備

－ 都市交通安全 －

【財源内訳】

分担金負担金 1,024,259円

国庫支出金 12,100,000円

都支出金 4,275,000円

市債 85,000,000円

一般財源 23,803,059円

2 市道第178－9号線整備の促進 3,466,000円 2,128,896円

＜市道第178－9号線整備事業費＞

武蔵野市との行政境となっている市道第178－9号線について、武蔵野市による拡幅整備が行われました。これについて、歩道部分を1.75mの幅員とする本整備のうち、三鷹市域（南側28m）に係る工事費を負担しました。

－ 都市交通安全 －

■市道第178－9号線整備状況



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
3 自転車走行空間の整備に向けた調査 ＜自転車走行空間整備事業費＞ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、武蔵野の森公園 周辺の大沢グラウンド通りが自転車推奨ルートに指定されたことを受け、平成30 年度の自転車走行帯のカラー舗装等の整備に向けて、交通量調査を行いました。 〔スケジュール〕 平成29年度 設計業務 平成30年度 整備工事	5,163,480円	3,866,400円
	－ 都市交通安全 －	
【財源内訳】		
都 支 出 金 3,866,000円	一 般 財 源	400円
4 三鷹駅南口ペデストリアンデッキの改修に向けた取り組み ＜三鷹駅前デッキ改修事業費＞ 利用者の安全安心の確保を図るとともに、平成27年度に実施した点検調査の結 果を踏まえ、雨によるデッキの水漏れ対策として、29年度のタイル舗装の防水シ ール工事に向けて設計を実施しました。また、今後の計画的な改修工事の実施に 向けて、改修計画の検討を行いました。	10,090,000円	8,063,280円
	－ 都市再生 －	
	－ 安全安心 －	
5 安全安心な橋梁の改修 ＜橋梁改修事業費＞ 平成26年度に策定した「三鷹市橋梁長寿命化修繕計画」等に基づき、予防保全 に向けて4橋の改修等工事を実施するとともに、29年度に改修を予定している5 橋の設計業務を行いました。 〔実績・内容〕 ・改修等工事 相曽浦橋、稲荷橋（耐震補強を含む）、谷端三の橋、井の頭橋 ・平成29年度改修に向けた設計業務 相曽浦橋（歩道部）、飛橋、榛沢橋、東一之橋、むらさき橋	51,048,000円	42,746,400円
	－ 都市再生 －	
	－ 安全安心 －	
【財源内訳】		
国 庫 支 出 金 9,570,000円	都 支 出 金	23,298,000円
一 般 財 源 9,878,400円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
6 街路灯のＬＥＤ化に向けた取り組み	53,847,000円	53,605,800円
＜街路灯整備事業費＞		
街路灯ＬＥＤ灯賃貸借契約（10年間）による街路灯のＬＥＤ化を進め、デザイン灯等を除く市内10,821灯について、平成28年９月にＬＥＤ街路灯への取り替えを完了しました。照度を確保しつつ消費電力を抑え、省エネ効果によるＣＯ₂削減に取り組むとともに、電気料の削減や維持管理費の抑制を図りました。		
－ サステナブル都市 －		
7 みたかバスネットの見直し	3,019,000円	2,657,648円
＜地域公共交通活性化協議会関係費＞		
平成27年度に策定した「コミュニティバス事業基本方針に基づく第二期見直し計画」に基づき、運行ルートの見直しを行い、平成29年３月30日から新ルートでの運行を開始しました。		
〔実績・内容〕		
・三鷹台ルートと西部ルートを統合し、「三鷹台・飛行場ルート」を新設しました。これに伴って、杏林大学病院周辺の運行経路を整理し、一部バス停を廃止するとともに、運行回数を１日当たり17便に増便しました。 ・三鷹台・飛行場ルート及び北野ルート、新川中原ルートについて「三鷹中央元気創造プラザ」内に新設されたバス停「三鷹中央防災防災公園・元気創造プラザ（市役所東）」への乗り入れを開始し、市役所を含む市民センター内の施設へのアクセス向上を図りました。		
－ 都市交通安全 －		
8 サイクルシェア事業に向けた取り組み	3,813,626円	2,828,638円
＜サイクルシェア事業費＞		
杏林大学井の頭キャンパス開設による三鷹駅利用者の増加等の課題に対し、三鷹駅南口周辺駐輪場の効率的な活用を図るため、サイクルシェア事業に向けた取り組みを行いました。		
平成28年度は、１年間を通して三鷹駅を利用する市民と学生間でのサイクルシェアの社会実験を行い、シェアの仕組みが成り立つことを確認しました。また、７月と１月に実施した実験参加者アンケートの結果により、効率性と利便性等が評価されていることを確認しつつ、事業化に向けた検討を行いました。		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

対象者 三鷹駅を使用する市民80人および杏林大学井の頭キャンパスに通学する学生80人（11月から90人）

実施場所 さくら通り第2駐輪場の一部区画

自転車台数 120台

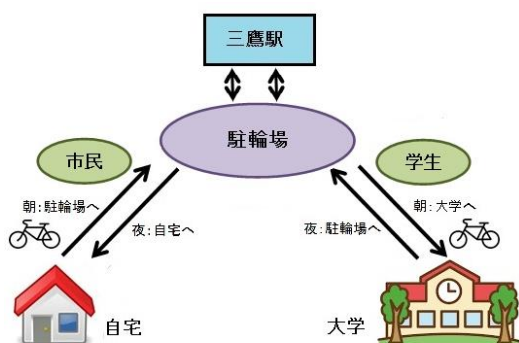
実験参加料金 月額1,000円

－ 都市交通安全 －

【財源内訳】

都 支 出 金	456,000円	諸 収 入	1,906,000円
一 般 財 源	466,638円		

■サイクルシェア事業（サイクルシェアのイメージ（左）、さくら通り第2駐輪場（右））



河川費

1 中仙川改修による都市型水害対策の推進 13,901,000円 13,899,840円

＜中仙川改修事業費＞

集中豪雨による都市型水害の対応に向けた、中原地区の中仙川改修事業について、周辺家屋等への影響を考慮した結果、工法の見直しを行うとともに、工期を平成31年10月まで延長しました。

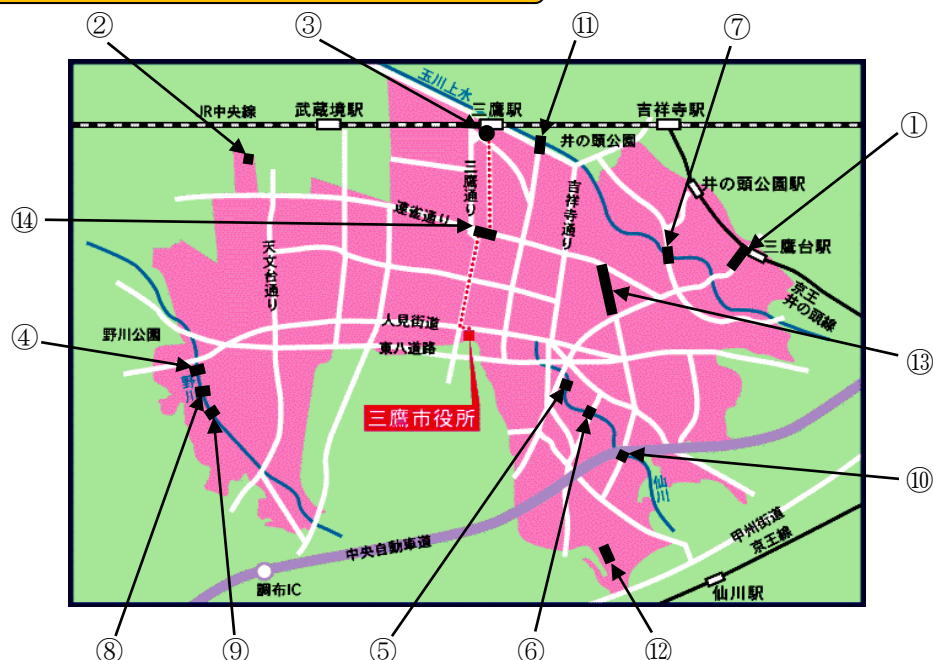
〔債務負担行為の内容〕

中仙川改修事業 714,744,000円（平成29～31年度＜債務負担分＞）

－ 都市再生 －

－ 安全安心 －

平成28年度に取り組んだ主な道路等の整備



【道路橋梁費】

- | | |
|------------------|----------------------------|
| ①市道第135号線 | 市道第135号線（三鷹台駅前通り）整備の促進 |
| ②市道第178－9号線 | 市道第178－9号線整備の促進 |
| ③三鷹駅南口ペデストリアンデッキ | 三鷹駅南口ペデストリアンデッキの改修に向けた取り組み |
| ④相曽浦橋 | 安全安心な橋梁の改修 |
| ⑤稲荷橋 | 安全安心な橋梁の改修 |
| ⑥谷端三の橋 | 安全安心な橋梁の改修 |
| ⑦井の頭橋 | 安全安心な橋梁の改修 |
| ⑧飛橋 | 安全安心な橋梁の改修 |
| ⑨榛沢橋 | 安全安心な橋梁の改修 |
| ⑩東一之橋 | 安全安心な橋梁の改修 |
| ⑪むらさき橋 | 安全安心な橋梁の改修 |

【河川費】

- | | |
|------|--------------------|
| ⑫中仙川 | 中仙川改修による都市型水害対策の推進 |
|------|--------------------|

【都市計画費】

- | | |
|----------------|-------------------------|
| ⑬都市計画道路3・4・13号 | 都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備の促進 |
| ⑭都市計画道路3・4・7号 | 都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備の促進 |

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

都市計画費

1 バリアフリーのまちづくりに向けた評価と今後の検討 ＜バリアフリーのまちづくり推進協議会関係費＞

485,000円

416,617円

「バリアフリーのまちづくり基本構想2022（第1次改定）」における重点整備地区である三鷹台駅・井の頭公園駅周辺地区について、現在整備中の三鷹台駅前の市道第135号線（三鷹台駅前通り）を中心にまち歩きを行い、地区内におけるバリアフリー整備に関する進捗状況を確認するとともに、改善や新たな取り組みについて検討しました。

〔実績・内容〕

	開催日	内容
第1回	平成28年8月3日	協議会委員による井の頭地区のまち歩き（32名参加）及び意見交換等
第2回	平成29年3月8日	まち歩きの振り返り、「バリアフリーのまちづくり基本構想2022（第1次改定）」における取り組み状況の確認及び意見交換等

－ 都市交通安全 －

■協議会委員による井の頭地区まち歩きの様子



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

2 用途地域等の見直し 7,020,000円 2,073,600円

＜都市計画事業運営費＞

平成27年度に策定した「用途地域等の見直し方針」に基づき、今後の土地利用転換の方向性と整合を図りながら、用途地域等の都市計画変更に取り組みました。

〔実績・内容〕

地域	内容
下連雀五丁目第二地区	「日本無線株式会社と三鷹市とのまちづくりに関する協力協定」に基づき、用途地域等の都市計画変更の原案を策定しました。
東京外かく環状道路中央ジャンクション周辺	「北野の里（仮称）まちづくりワークショップ」の結果を踏まえ、土地利用の方針の検討を行いました。

－ 地域活性化 －

3 東京外かく環状道路整備に伴うまちづくりの推進 4,632,000円 4,141,107円

＜東京外かく環状道路計画調査研究関係費、安全・安心のまちづくり連絡協議会関係費＞

平成27年度に策定した「北野の里（仮称）まちづくり方針」に基づき、ワークショップを開催し、「北野の里（仮称）のまちづくり整備計画」策定に向けて蓋かけ上部空間やジャンクション周辺のゾーニング案等の提案をとりまとめました。

また、「外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会」を3回開催し、安全対策や防犯対策等を検討・協議するとともに、引き続き国等の事業者に対して市民や市の要望が確実に実行されるよう要請しました。

－ 都市再生 －

－ 地域活性化 －

■北野の里（仮称）まちづくりワークショップの様子



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

4 三鷹台駅前周辺地区のまちづくりの推進 2,139,000円 154,277円

＜三鷹台駅前周辺地区整備関係費＞

三鷹市東部地区の玄関口にふさわしい都市空間を創出するため、関係権利者や地域住民等の意見を聴きながら、「まちづくり推進地区整備方針」の策定に向けた検討を行いました。

また、(株)まちづくり三鷹と連携し、三鷹台まちづくり協議会のこいのぼり祭りやポケットパークの花植え等の活動について支援するなど、三鷹台駅前周辺地区の活性化に向けて取り組みました。

－ 都市再生 －
－ 地域活性化 －

5 外国人観光を促進するための案内・誘導サインの多言語化

＜案内・サイン多言語化事業費＞ 6,000,000円 3,278,880円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等を見据え、三鷹市を訪れる外国人が観光しやすく、三鷹市在住の外国人も利用しやすい魅力的なまちづくりを推進するため、案内・誘導サインの多言語化に取り組みました。初年度となる平成28年度は(公財)東京観光財団からの助成金を活用し、「三鷹駅前～風の散歩道～ジブリ美術館」のエリアで公共施設案内標識等の多言語化を行いました。

〔実績・内容〕

実施対象 公共施設案内標識（5箇所）、道路愛称名標識（4箇所）

対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

〔関連事業費〕

一時避難場所及び避難所案内図の多言語化（消防費） 2,288,520円

－ 地域活性化 －

【財源内訳】

諸 収 入	1,518,000円	一 般 財 源	1,760,880円
-------	------------	---------	------------

■ 4 か国語表示の公共施設案内標識



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

6 三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業の推進 2,425,000円 0円

＜三鷹駅南口中央通り東地区市街地再開発事業費＞

三鷹駅南口中央通り東地区（三鷹センター周辺・文化劇場跡地）が、再開発事業によって三鷹駅前の活性化の拠点となるよう、関係権利者やUR都市機構とともに、商業施設の所有形態や地域の魅力向上に向けた検討などを行いました。

また、「三鷹駅前地区再開発基本計画2022」を策定し、改めて本事業を重点事業に位置付けるとともに、関連事業等の取り組みの方向性を明確にしたうえで、関係機関等との調整を図りながら都市計画決定に向けて検討を進めました。

－ 都市再生 －
－ 地域活性化 －

7 都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備の促進 239,784,124円 45,078,636円

＜都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備事業費＞

三鷹都市計画道路3・4・13号の人見街道から連雀通りまでの区間（約466m）を整備するため、引き続き用地の取得を行いました。また、電線類地中化工事に向けた予備設計や交通安全対策についての警視庁協議に取り組みました。

〔実績・内容〕

平成28年度末の取得面積および取得率 117.88㎡（85.5%）

－ 都市交通安全 －

【財源内訳】

国庫支出金	20,350,000円	都支出金	8,325,000円
一般財源	16,403,636円		

■都市計画道路3・4・13号（牟礼）の現状



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

8 都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備の促進 380,535,876円 226,975,957円

＜都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備事業費＞

連雀通りの八幡前交差点から下連雀七丁目交差点付近までの区間（約235m）について、東京都の「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用し、用地（157.88㎡）の取得を行いました。これにより、事業予定地の取得は全て完了しました。なお、物件の引き渡しは平成29年5月になることから、繰越明許費を設定しました。

また、道路築造に向けて道路詳細設計や東京都の都市計画事業区間との調整などに取り組みました。

〔スケジュール〕

平成29年度 電線共同溝・道路修正設計

平成30～33年度 ボックスカルバート撤去、街築（排水用の側溝）・電線共同溝整備等

平成34年度 歩道・車道整備

〔繰越明許費繰越額〕

平成29年度への繰越分 物件補償費 29,867,000円

－ 都市交通安全 －

【財源内訳】

都 支 出 金	221,709,233円	一 般 財 源	5,266,724円
---------	--------------	---------	------------

9 児童遊園等の公有地化の推進 444,043,280円 437,073,267円

＜児童遊園整備事業費、都市公園整備事業費＞

児童遊園等の公園用地を取得し、公有地化を図りました。

〔実績・内容〕

①野崎三丁目公園（大沢青少年広場） 取得面積 546.54㎡

②新川あおやぎ公園 取得面積 702.01㎡

③大沢二丁目公園 取得面積 492.17㎡

－ サステナブル都市 －

【財源内訳】

国庫支出金	92,100,000円	都 支 出 金	56,300,000円
市 債	224,000,000円	一 般 財 源	64,673,267円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

10 公園管理情報システムの構築 7,053,000円 6,912,000円

＜都市公園維持管理費＞

公園管理情報システムを構築し、紙媒体で管理・保管している都市公園台帳や公園管理台帳を電子化しました。既存の公園データベースと一元化するとともに、修繕履歴を含めた情報管理を行うことで、安全安心な公園づくりへの活用を図りました。

【財源内訳】

都 支 出 金	3,450,000円	一 般 財 源	3,462,000円
---------	------------	---------	------------

11 まちなかグリーンベルトの推進 3,500,000円 2,610,000円

＜まちなかグリーンベルト創出事業費＞

地域コミュニティの創出を図りながら、町会・まちづくり協議会等と緑化を推進する「まちなかグリーンベルト創出事業」を実施しました。平成29年度までのモデル事業として、引き続き新川宿地区においてワークショップの開催や緑化デザインの検討（6件）を行うとともに、緑化工事に対する助成（5件）を行いました。

〔助成内訳〕

	市	協会
ワークショップの運営	2,000,000円	2,000,000円
緑化工事	610,000円	407,224円

※ 協会からの助成は、（公財）東京都公園協会の助成制度を活用し、市を経由せずに町会等に対して直接行われました。

－ コミュニティ創生 －
－ サステナブル都市 －

■緑化工事後の様子



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

住宅費

1 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の促進 354,459,000円 304,773,664円

＜特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業費＞

災害時における避難、救急消火活動、緊急支援物資の輸送等を支える緊急輸送道路機能を確保するため、引き続き特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断、耐震改修等の費用の助成を行いました。

〔実績・内容〕

平成28年度助成実績

耐震診断	1件
耐震改修等	1件

－ 都市再生 －
－ 安全安心 －

【財源内訳】

国庫支出金	121,972,000円	都支出金	121,972,000円
一般財源	60,829,664円		

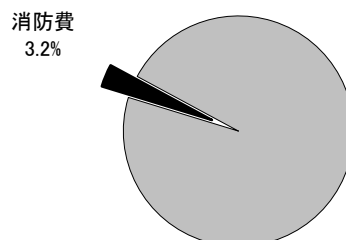
平成28年度に取り組んだ主な公園整備



- | | |
|-------------------|---------------|
| ①野崎三丁目公園（大沢青少年広場） | 児童遊園等の公有地化の推進 |
| ②新川あおやぎ公園 | 児童遊園等の公有地化の推進 |
| ③大沢二丁目公園 | 児童遊園等の公有地化の推進 |

第9款 消防費

■一般会計に占める割合



■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
平成28年度	2,234,336	2,165,992	203,330	0	2,413	1,960,249	96.9%
平成27年度	2,245,486	2,217,887	222,729	42,000	942	1,952,216	98.8%
増減	△11,150	△51,895	△19,399	△42,000	1,471	8,033	—

事業名＜事項名＞及び事業概要

予算現額

決算額

消防費

1 消防団用防火衣の更新配備

6,529,000円

6,483,240円

＜消防団用防火衣等整備事業費＞

消防団員の安全確保と地域の消防力向上のため、東京都の「市町村消防団用防火衣整備費補助金」を活用して、耐火性、機動性の高い新型防火衣等を配備しました。

〔配備数〕

新型防火衣等一式 30着（10個分団×3着）

— 安全安心 —

【財源内訳】

都支出金 2,250,000円

一般財源 4,233,240円

2 消防ポンプ自動車の更新

18,900,000円

18,900,000円

＜消防施設整備費＞

地域の消防力の強化を図るため、購入後15年を経過した消防団第三分団の消防ポンプ自動車を更新しました。

— 安全安心 —

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

都支出金	11,700,000円	一般財源	7,200,000円
------	-------------	------	------------

■消防団第三分団の消防ポンプ自動車



3 市民の自助と地域の共助の強化

市民の自助と共助の取り組みの強化に向け、引き続き防災出前講座を開催するとともに、町会・自治会や日頃の活動グループ等を単位としたミニ防災訓練を実施しました。

また、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構と連携して、防災出前講座の講師養成講座を開催し、地域の防災リーダー育成に努めました。

〔実績・内容〕

防災出前講座	49回開催（1,925人参加）
ミニ防災訓練	24回開催（2,018人参加）
地域防災リーダー養成講習会	1回開催（45人参加）

－ 安全安心 －

4 危機管理能力向上研修の実施

平常時の防災意識の向上と発災直後の初動態勢の対応力強化を図るため、市職員の危機管理能力向上研修を実施しました。

〔実績・内容〕

職員危機管理能力向上研修

開催回数	8回
受講者数	275人

－ 安全安心 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
5 防災行政無線電話自動応答システムの導入 ＜防災通信体制整備事業費＞ 防災行政無線の放送内容について、市民への情報伝達の確実性を高めるため、電話での問い合わせに自動で応答するシステムを導入しました。 〔システム概要〕 電話受付時間 24時間対応 音声保存期間 放送後24時間 電話回線数 6回線 電話番号 0120-119-921（フリーダイヤル） 運用開始 平成29年4月	4,700,000円	4,459,644円
－ 安全安心 －		
6 一時避難場所及び避難所案内図の多言語化 ＜災害対策備蓄等整備事業費＞ 災害時の外国人観光客等の安全を守るため、コミュニティ・センターや広域避難場所に設置している一時避難場所及び避難所案内図9箇所の多言語化整備を行いました。実施に当たっては、（公財）東京観光財団からの助成金を活用しました（142ページ参照）。	3,620,008円	2,288,520円
－ 安全安心 －		
【財源内訳】 諸 収 入 1,059,000円	一 般 財 源 1,229,520円	
7 災害時在宅生活支援施設の拡充 ＜災害時在宅生活支援施設整備事業費＞ 災害時に在宅で被災生活を行う市民を支援するため、生活支援施設を新たに2箇所整備し、炊出し用設備や組立トイレ等を配備しました。 〔整備概要〕 大沢地区公会堂 所在地 大沢三丁目 備蓄品 炊出し釜セット、スタンドパイプセット、緊急給水栓 各1組 折り畳み式リアカー 1台 井口西地区公会堂 所在地 井口四丁目 備蓄品 スタンドパイプセット、緊急給水栓 各1組 折り畳み式リアカー 1台	2,990,000円	2,178,262円
－ 安全安心 －		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
8 三鷹市国民保護計画の改定に向けた検討	220,000円	90,000円
＜国民保護協議会運営費＞ 平成27年3月に「東京都国民保護計画」が改定されたことに伴い、国民保護協議会の審議を踏まえて「三鷹市国民保護計画」（平成18年3月策定）の改定に向けた検討を進め、変更素案のパブリックコメントを実施しました。 〔主な変更内容〕 ・全国瞬時警報システム（J－A L E R T）等の新たな警報伝達手段に関すること ・安否情報システムの利用に関すること ・女性や障がい者等に配慮した避難所運営に関すること など		
－ 安全安心 －		
9 障がい者グループホーム防火設備の整備に向けた支援	1,200,000円	239,640円
＜障がい者グループホーム防火設備整備助成事業費＞ 消防法施行令の一部改正（平成27年4月）に伴い、社会福祉施設等の防火設備基準が強化されたことから、社会福祉法人等が運営する市内障がい者グループホームに対して、防火設備の整備に係る費用を助成しました（28～29年度に実施）。 〔実績・内容〕 自動火災報知設備の整備 巣立ちホーム（大沢四丁目、定員6人） 巣立ちホーム三鷹第2ユニットA（上連雀九丁目、定員7人）		
－ 安全安心 －		
10 市内介護施設におけるスプリンクラー設備の整備に向けた支援		
＜地域密着型施設防火設備整備助成事業費＞	1,158,000円	1,157,000円
消防法施行令の一部改正（平成27年4月）に伴い、社会福祉施設等の防火設備基準が強化されたことから、対象となる市内の事業所に対して、スプリンクラー設備の整備に係る費用を助成しました。助成に当たっては、国の交付金を活用しました。 〔実績・内容〕 施設名 野ざきの家 所在地 野崎二丁目 定員 20人 設備 スプリンクラー 27か所		
－ 安全安心 －		
【財源内訳】 国庫支出金 1,157,000円		